

交換用シリンダー

Kaba star plus 取付説明書

当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
シリンダーを取り付ける前に、本説明書を必ずお読みください。



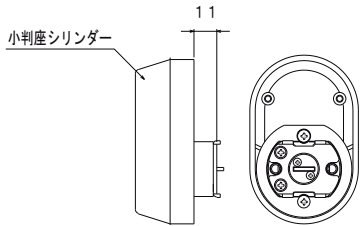
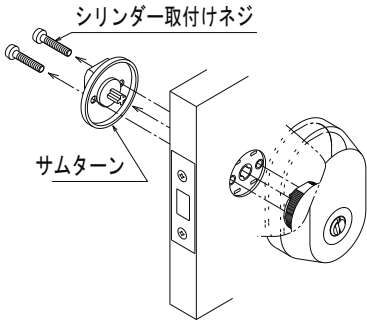
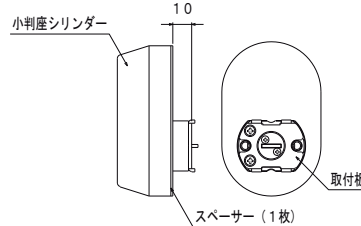
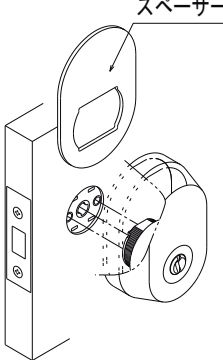
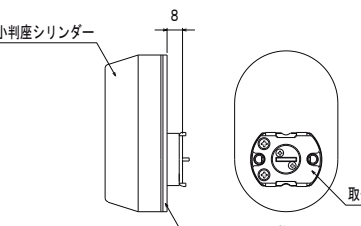
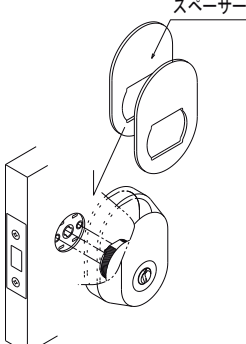
- ・交換作業時は必ず開扉状態にし、扉を固定して行ってください。作業途中で扉が閉まると入室出来なくなる恐れがあります。
- ・キーケースに貼ってあるシールのシリアル No. は、鍵登録及びスペアキーの注文に必要となりますので、キーケースを保管するか、他の場所へ No. を転記するなどし、紛失しないようにしてください。

品番：8150T

◆適合錠前 小判座シリンダー（各サッシメーカー）

◆タイプ種類 シリンダー後部長さ違い A・B・C・D

※作業前に既存のシリンダータイプを確認し、購入されたシリンダーが対応しているかご確認ください。

<p>【タイプ A】標準 (DT40) 対応機種：MCY-457/458</p> 	<p>①室内側からシリンダー取付ネジを外し、既存シリンダーを外します。</p> <p>②取り外しの逆の手順で、錠本体に8150Tを取り付けます。</p> 
<p>【タイプ B】 対応機種：MCY-446/447</p> 	<p>①室内側からシリンダー取付ネジを外し、既存シリンダーを外します。</p> <p>②付属のスペーサー 1 枚 (1mm) を小判座シリンダーの底面に入れます。</p> <p>③取り外しの逆の手順で、錠本体に8150Tを取り付けます。</p> 
<p>【タイプ C】 対応機種：MCY-444/445 -477/478</p> 	<p>①室内側からシリンダー取付ネジを外し、既存シリンダーを外します。</p> <p>②付属のスペーサー 2 枚 (1mm+2mm) を小判座シリンダーの底面に入れます。</p> <p>③取り外しの逆の手順で、錠本体に8150Tを取り付けます。</p> 

※注意 取り付け後、キーの操作が重くなった時は錠ケースの調整を行い、それでも復旧しない場合は専用潤滑剤（Kaba クリーナー）をご使用ください。

タイプD 取付方法は裏にあります →

ドルマカバジャパン株式会社

カスタマーサービス
〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 1-3-11
TEL：045-367-8769
FAX：045-367-9044
www.dormakaba.com/jp-ja



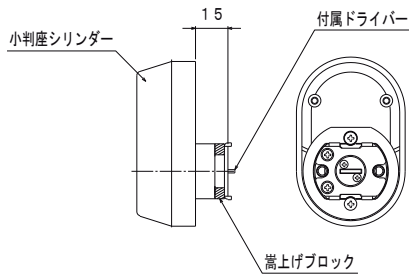


警告

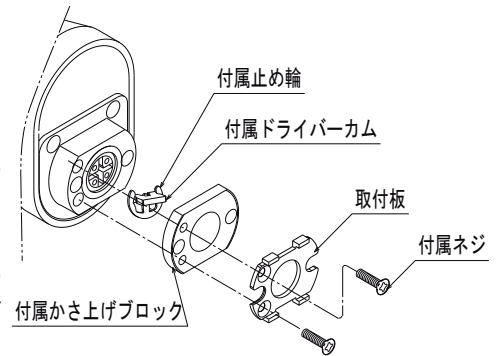
・交換作業時は必ず開扉状態にし、扉を固定して行ってください。作業途中で扉が閉まると入室出来なくなる恐れがあります。

【タイプD】

適応機種：MCY-442/443/470
-471/472/473/474
-475/479/480



- ①室内側からシリンダー取付ネジを外し、既存シリンダーを外します。
- ②シリンダー裏面の取付板を外し、下記のドライバーカム交換手順を参考に止め輪とドライバーカムを外します。
- ③付属の止め輪を使用して、付属の長さの長いドライバーカムに交換します。
- ④シリンダーと取付板の間に付属の嵩上げブロックを挟み、付属の取付板のネジを締め、固定します。
- ⑤取り外しの逆の手順で、錠本体に8150Tを取り付けます。



※外した止め輪や取付ネジは再使用しないでください。

【ドライバーカムの横→縦交換作業手順】 必要道具：マイナスドライバー

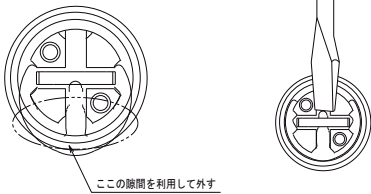


注意

- ・外した止め輪は使用せず、付属している交換用止め輪を必ず使用してください。
- ・交換中は必ず鍵を抜いてください。鍵が抜けなくなり、製品が分解し、使用不能になる恐れがあります。

①見えている止め輪の中間柱をマイナスドライバー等で押します。

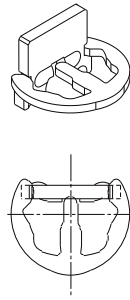
注意：力をあまり入れずに押してください。怪我をする可能性があります。



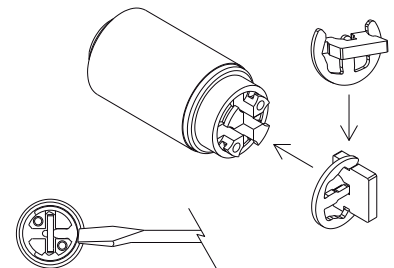
この隙間を利用して外す

②止め輪の隙間を利用して、止め輪をずらし止め輪とドライバーカムを外します。

③外したドライバーカムと付属の止め輪をセットします。先にドライバーカムを置くと止め輪がつけにくくなります。



④90°回転させた位置にドライバーカムと止め輪を置きます。



⑤止め輪の背をカチッと音がするまで押し、ドライバーカムを固定します。